

### 9 道路のカラー舗装について

有澤 萌 中学生議員  
(南中)



#### 【質問】

歩行者や自転車が安心して通行できるように、歩道のない道路の路側帯や自転車が通ることができる歩道の半分をカラー舗装し、視覚的にわかるようにしてはどうか。

#### 【答】

今年度を実施した通学路の緊急点検の結果、必要と判断した箇所については路側帯のカラー舗装を行う。

自転車が通行できる歩道へのカラー舗装は、歩道の幅員の現状から実施は困難な状況である。

安全対策としては、ハードだけでなく、ソフト面の各種対策にも取り組んでいく。

### 8 高齢者の孤独死対策について

鬼原 聖弥 中学生議員  
(高浜中)



#### 【質問】

- ①夏休みなどを活用して、小中学生と高齢者の交流の場をつくってはどうか。
- ②ウォークラリーなど、地域の人が関わる行事を積極的に行ってはどうか。

#### 【答】

市では「生涯現役のまちづくり事業」に取り組んでおり、高齢者の居場所・交流場所として気軽に立ち寄れる「健康自生地」を市内各所に展開している。また、地域では「算数教室」「切手アート教室」など、高齢者が子どもを対象にした講座を実施している。

ぜひ「健康自生地」に出向いたり、活動に力を貸したりしていただきたい。

### 7 観光の活性化について

磯貝 勇斗 中学生議員  
(高浜中)



#### 【質問】

高浜には伝えていきたい素晴らしい伝統や文化、有名人がいる。より多くの人に市の魅力を伝えるため、伝統など触れ合う体験や、観光パンフレットの見直しなどをしてはどうか。

#### 【答】

体験会の例としては、とりめし学会主催の「親子とりめし教室」や、鬼師の工場で「鬼瓦づくり体験」が行われている。

また、今年3月から情報誌「遊びにおいでんTAKAHAMA」を発行しているが、今後は広くPR方法を考えていく。

提案内容は観光協会に伝え、取り組んでいく。

## こんな高浜市にしていきたいな!

### 中学生議会を終えて

中学生議員の皆さんからは、「議事堂の空気は独特で、気持ちが引き締まった。無事に終わることができ、ほっとした。」「質問はしなかったが、中学生議員の皆さんを支えているという思いで臨み、達成感を感じた。」といった感想が聞かれました。

今回の議会体験をとおして、「高浜を愛し、高浜のよさを学んで、高浜でたくましく生きる未来市民」としての自覚が深まったようです。



▲緊張もとけて、いつもの笑顔が戻りました

### 11 市の広報について

高須 楓 中学生議員  
(南中)



#### 【質問】

子どもたちも市の情報や活動をしっかり知るために、子ども向け行事の特集、各学校の活動が紹介されている子ども向けの広報を作ってはどうか。

#### 【答】

「広報たかほま」の中に「中学生の編集ページ」コーナーを設けるので、学校行事、授業や部活動のようす、住んでいるまちのことなど、中学生の目線で記事を書いていただきたい。子ども向けの広報は、「中学生の編集ページ」をまとめることで発行にかえたい。

読んでみたくなる広報を作るため、力を貸していただきたい。

### 10 高齢者福祉について

杉浦 彩希 中学生議員  
(高浜中)



#### 【質問】

宅老所を高浜高校や保育園・幼稚園・児童クラブの近くに作り、福祉科の生徒や子どもたちと高齢者が交流できるようにしてはどうか。また、交流の仕方も工夫してはどうか。

#### 【答】

多機能施設を考えていくことは大切であり、「世代間交流」は一つのキーワードでもある。

「世代間交流」は、場所が近い、併設しているといった施設の位置・距離も大切だが、高齢者を思いやる心を持ち、行動を始めることも大切である。

この機会に宅老所を訪問するなど、高齢者との交流を始めてみていただきたい。